

山の手東グループ活動通信

山の手東西グループ 合同I.M.の御礼

山の手東グループ 幹事 古屋 文隆 (東京城西RC)

11月9日、青山ダイヤモンドホールに於いて、山の手東西グループ合同インターシティミーティング(以後、I.M.)が「奉仕の輪を広げよう」をテーマに開催致しました。

昨今の厳しい経済情勢の中、二つのグループが合同でI.M.を行うことは、経済的な面でも、規模の面でも、時代にあった会合になるのではないかと考え、山の手東グループ・鍋木ガバナー補佐、山の手西グループ・原田ガバナー補佐が提唱し、20クラブの会長・幹事のご協力の下、片倉実行委員長(東京城西RC)、矢島副実行委員長(東京青山RC)、各クラブより選ばれたI.M.実行委員の方々と共に、幾度も意見交換を重ね、I.M.を作り上げて参りました。

本会議では、久邇ガバナー、市川パストガバナー、上條地区幹事、星野地区幹事に御臨席賜り、両グループ合わせて1,049名の会員のうち、518名が本大会に、277名が懇親会に参加をして頂き、満員御礼の盛況となりました。

各クラブの奉仕活動を紹介したブースでは、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕、クラブの紹介など、多様性溢れる魅力を分かりやすく展示して頂きました。

久邇ガバナーに御挨拶を賜り、その後の3分間クラブ紹介では、20クラブ全ての発表を行って頂き、市川パスト・ガバナーに御講評を頂きました。

講演会では政治評論家の三宅久之氏に「政局の動向と経済の見通し」について講演を頂きました。テレビでは聞くことのできない政治の裏側の話を面白おかしくお話をしていただき、終始会場が沸いておりました。



このI.M.のもう一つの特徴は、共同事業として「植樹」を行うことでもあります。久邇ガバナーの「山に緑を」を実現する一つの形として、平成22年春に目黒区の東山公園拡張部に、20種、60本の樹を植える事業を行うことを発表いたしました。その資金を得る場として「チャリティーオークション」を懇親会で開催をしました。

各クラブより、ホテルの宿泊券、絵画、ワイン、イチロー選手のサイン、清原選手の現役時代のバット、色紙、ネックレス、中国の屏風、人間国宝の作品、弦楽四重奏の出張演奏会、ぬいぐるみなど、貴重なものや興味深いものが多数出品されました。

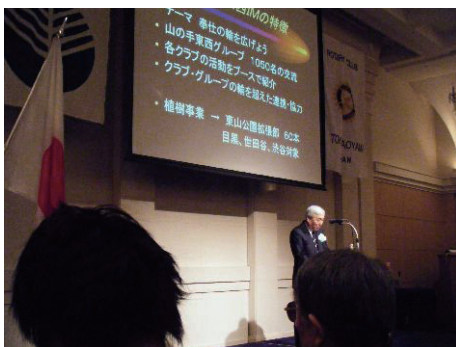
東京恵比寿RCの会員でもある「山東昭子参議院副議長との食事またはゴルフ」も出品され、高値で落札されました。

東京世田谷RCから出品された、大海亀(剥製)はオークションコーナーを占領するほど圧倒的な存在感でした。落札されなければ髄甲にされてしまう運命の中、ワイルドミス絵本美術館の野村様が、「うさぎと亀」の「亀」として落札をして頂くことが決まり、第二の人(亀)生の旅立ちをしました。今回一番喜んだのは、子ども達に愛される道を歩んだ大海亀だったのかも知れません。



チャリティーオークションでの収益は、6割が出品クラブに戻され、4割が共同事業として使われることになります。またオークション以外の商品提供頂き、抽選で当たるラッキーカードを販売し、14万円の売上がありました。合計約200万円の収益を上げることができ、出品クラブのご協力はもちろんのこと、落札をしてくださった方に心より御礼を申し上げます。

懇親会では、オーケストラ・プレットロによる演奏、ミス・インターナショナル2008日本代表の杉山恭子さんに、司会とプレゼンターをお願いして、会場を盛り上げてくれました。ホスト・クラブである東京城西RCと東京青山RCのSAA委員の方々、4名の学生さんに会場設営や準備のお手伝いを頂きました。



このI.M.を開催するに辺り、最も支えてくださった方は、山の手西グループの京谷幹事で、大胆な発想と繊細な計画による企画・運営・実行の全てを取り仕切って頂きました。私はI.M.の前日に35歳になったばかりの若輩で、入会して5年しか経っておらず、クラブでの幹事経験もないまま、グループ幹事という大役に抜擢して頂きました。そのため、お役に立つことよりもご迷惑ばかりかけてしまっていたように思います。しかし、皆様の支えのお陰で、無事にI.M.を開催でき、心より感謝を申し上げます。誠に有り難うございました。

